

1. 前進ルールの内容

(1) 1打目：①OB ②池に入った ③ロストとなった場合は、必ず下表の前進位置と打数でプレーすることとする。

	前進位置（ティーアップ可）	打数
ミドルホール	100Yの左右ヤード木を結んだ直線の後方より	4打目でプレー
ロングホール	200Yの左右ヤード木を結んだ直線の後方より	4打目でプレー
ショートホール	特設ティー	3打目でプレー

尚、3番ショートホールに関しては、常時、即ち適用日の組数等にかかわらず必ず、特設ティーから前進3打目でプレーすることとする。

(2) 2打目以降：①OB ②池に入った ③ロストとなった場合は、

2打付加新ルール：JGAローカルルール（ストロークと距離に代わる選択肢）を適用することとする。

プレーヤーの球が見つからない、あるいはOBであることが分かっている、または事実上確実な場合、ストロークと距離に基づく処置に代えて2打の罰を受け、球の基点とフェアウェイの基点で定まる救済エリアに元の球か別の球をドロップすることによって救済を受けることができる。

(救済エリアの詳細は場内掲示をご確認ください)

2. 適用する組

適用する組はキャディー付、セルフを問わず下記のルールとする。

また、適用しない組であっても“遅延発生時には直ちに前進ルールを適用する”こととする。

1組の場合	
1 全員の会員の場合	前進ルールの適用は原則“適用せず”とするが、“適用する”こととしてもよい
2 会員が1名でもいる場合	前進ルールの適用は会員の判断による
3 全員ビジターの場合	前進ルールを必ず適用する
2組以上の場合（コンペ含む）	
1 全員の会員の場合	前進ルールの適用は原則“適用せず”とするが、“適用する”こととしてもよい
2 1名でもビジターがいる場合（上記1でない場合）	前進ルールを必ず適用する

3. 適用する日の組数及び周知方法

予約組数が原則40組以上の日とするが、40組未満の日であっても状況によりキャディーマスターの判断で適用日とする場合がある。キャディーマスター室前に“前進ルール適用日”を掲載するとともに、キャディー付の場合にはキャディーが、セルフプレーの場合にはマスター室従業員がスタート前に説明し周知徹底する

4. その他

競技の場合は適用しないこととする。